

倍強度ガラス

HS 200

フロート板ガラス、熱線反射ガラス、高性能熱線反射ガラスそれぞれの特性を活かしながら、耐風圧強度と熱割れ強度を約2倍にグレードアップさせた板ガラスがHS 200です。

特長

1 優れた耐風圧強度

精密な熱処理工程を加えることにより、その耐風圧強度を同厚の単板ガラスと比べ約2倍にまで高めました。そのため設計風圧力の高い場所でも薄い板ガラスが使用できビルの低層部と高層部でもサッシ断面が同一にできます。

2 安全性

熱割れ強度は同厚のフロート板ガラスの約2倍。日射熱を多量に吸収するため、熱応力が高くなるスパンドレル部などに使用する場合でも安心です。

用途

- 1 スパンドレル部など熱応力により熱割れの可能性が高い部位。
- 2 ビル高層部と低層部あるいは一般部と隅角部など色調の調和・サッシ断面の統一を図るため、ガラスの厚さを統一したい場所。



● 泉ガーデン(東京) 設計: 日建設計 HS 200

● 品種別許容荷重(N)

厚さ t(ミリ)	3	5	6	8	10	12	15	19
HS 200	-	-	9,000	14,400	21,000	28,800	-	-
〈備考〉 フロート板ガラス 熱線反射ガラス 高性能熱線反射ガラス	1,575	3,375	4,500	7,200	9,450	12,960	17,100	26,220

※許容荷重: 破損確率1/1,000の許容荷重を示します。

※熱線吸収板ガラスについては、15ミリ厚、19ミリ厚は製造していません。

● 品種表

品 種	素板ガラス	呼び厚さ(ミリ)	最大寸法(mm)	最小寸法(mm)
HS 200	フロート板ガラス	6	3,600×2,000	300×200
		8	4,500×2,400	
		10	4,500×2,500	
		12		

※熱線反射ガラス(レフライト)、高性能熱線反射ガラス(レフシャイン)を素板ガラスとした最大寸法は製品一覧P.195をご参照ください。

※上記以外の仕様についてはお問い合わせください。

破損状況の比較



HS 200
破損しても強化ガラスのように破片が細かい粒状になりません。



フロート板ガラス(FL6)



タフライト(6ミリ)
破損すると破片が細かい粒状になり、脱落の可能性があります。